

にかほ

# 福祉だより

第12号

平成20年4月1日

編集発行

社会福祉法人 にかほ市社会福祉協議会

秋田県にかほ市平沢字八森31番地の1

TEL 0184-32-3020 FAX 0184-37-2852

ホームページ <http://nikaho-shakyo.jp>

## 平成19年度 ボランティア講演会



会場は笑いの渦に包まれました！！

### 「ボランティア講演会」

3月6日(木)、スマイルにて、あべ十全さんを講師にお招きして「ボランティア講演会」が開催されました。ボランティア関係者や一般の方々、約180名が会場に足を運んでくださいました。参加した皆さんは、十全さんの巧みな話術にひきこまれ終始笑いが絶えず、有意義な時間を過ごしていました。

## 地域福祉



にかほ市社会福祉協議会

会長 細 矢 鐵 雄

荒神の太平山も笑うなり 残鶯ざんりゅう

元、村長三浦檀かじのさんの句であるが、漸く春になり躍動と眠気の来る季節となった。太平山に此の句碑があると聞いているが行ったことがなく、何時かはと思っている。また、

鳥海つみの嶮あやも春なり月の暈かげ 残鶯

であるが、素晴らしい郷土の自然と豊かな村々であるにも関わらず、限界集落とか、後期高齢者、少子社会など他人ごとめく言葉が横行し哀しい世になったものと思う。月の暈とは朧夜の現象であるが現在では、一般社会そのものが朧夜めきて何処か心許ないと思うのは私ばかりでないと思うが如何に。テレビのチャンネルを回すと何処かで戦争や飢餓を訴えているし、汚職と、いつわり、格差社会を報じている。また一方では、美味なものの食いくらべと裸で温泉に入っているめでたい国もあり、一生懸命に生きるとはどういう事なのかと迷うのである。

ところで、社会福祉協議会としては此の変動の激しい社会で、何か役に立ちたいものと役職員一同、いろいろと

頑張っていることを報告いたし、行政や市民の皆様からも絶大な御支援を頂いている事に感謝しているところである。

平成二十年度もよりよい行動を展開すべくスタートを切り、地域福祉の原動力となるため、覚悟を新たにいたしている。

過去の在宅福祉の家族のあたたかさ  
と今の福祉施設の機能の良さと合わせた生活福祉に移行することを願い、加えて地域福祉の基となる集落や町内会、自治会の介在する役割が大きいと訴えているのである。

平成二十年度から五ヶ年計画の地域福祉活動計画を過年度に作成し、行政の福祉計画をより具体的に市民個々と共に、官民一体となった行動を展開いたしたので今まで以上の御支援を賜りますよう切望いたします。

平成二十年四月

3月11日に開催された評議員会において、平成20年度の事業計画・予算・役員改選について審議され、議決されました。

# 平成20年度 社会福祉法人 にかほ市社会福祉協議会

## 基本目標

近年、福祉を取り巻く環境が大きく変動する中で、社会福祉協議会は地域福祉推進の中核として「誰もが安心して暮らせる地域社会」を実現するため、地域住民や各種関係機関・団体と地域課題を共有し、その解決に向けた連携や協働による新たな取り組みが求められています。

このような中、にかほ市社会福祉協議会では、地域福祉活動計画に基づき地域住民相互による交流活動と支えあいによる地域福祉活動を推進し、福祉ニーズの把握に努め、相談体制の向上と福祉情報の共有化を目指します。

## 基本方針

1. 地域福祉の基幹・拠点として住民活動の推進と事業の展開に努めます。
2. 高齢者の生きがいと活動支援と在宅福祉サービスの充実・強化に努めます。
3. 子供の健やかな成長を育む機会と環境づくりに努めます。
4. 障害のある方の地域・在宅での生活支援、自立支援と社会参加の促進に努めます。
5. 社会福祉協議会の組織体制の構築と事業運営方針の確立、経営基盤の強化に努めます。

# 事業計画

にかほ市社会福祉協議会では、市民の皆様が安心して暮らせる地域社会の確立を目指して、以下の事業を展開していきます。主な事業を紹介します。

## ◆ 法人運営事業

- ◇理事会・評議員会・監事会・正副会長会議の開催
- ◇各分会・委員会の開催

## ◆ 地域福祉事業

- ◇地域福祉ネットワーク事業
- ◇地域福祉権利擁護事業への協力
- ◇ボランティアセンター・ボランティアステーション事業
- ◇福祉だよりの発行
- ◇社会福祉大会の開催
- ◇地域福祉トータルケア推進事業
  - 体力年齢評価事業
  - 住民アンケート事業
  - 住民座談会
  - 高齢者生活支援買い物ツアー事業
  - 日常生活用品受注配達事業
  - 花のメッセージ事業
  - 町内会長・民生児童委員・福祉員による合同会議
  - 相談事例検討会



▲住民座談会

## ◆ 在宅福祉事業

- ◇福祉用具等貸与事業
- ◇防火査察事業
- ◇ネットワーク活動事業



▲花のメッセージ事業

## ◆ 居宅等介護事業

- ◇居宅介護支援事業
- ◇訪問介護事業（介護予防含む）
- ◇通所介護事業（介護予防含む）
- ◇訪問入浴介護事業
- ◇障害者自立支援居宅介護等事業
- ◇苦情、相談窓口の設置



▲通所介護事業

## ◆ 受託事業

- ◇アクティビティ事業（ミニデイサービス）
- ◇栄養改善事業（配食サービス）
- ◇外出支援事業
- ◇介護予防ケアマネジメント
- ◇福祉バス運行事業
- ◇老人福祉センター管理委託事業
- ◇元気百歳館管理委託事業
- ◇緊急通報システム運営事業
- ◇生活管理指導員派遣事業
- ◇要介護認定調査事業
- ◇軽度生活援助事業
- ◇地域福祉総合推進事業

## ◆ 赤十字事業

- ◇日本赤十字社（社費・社員増強運動）に協力
- ◇赤十字奉仕団に協力
- ◇通学路の安全・見守り運動

## ◆ 共同募金事業

- ◇共同募金会理事会の開催
- ◇共同募金運動へ協力
- ◇ボランティア育成事業
- ◇シルバー健康推進事業
- ◇ふれあい交流会
- ◇シルバー料理教室
- ◇出前サロン事業
- ◇異世代交流事業
- ◇ふれあいデイサービス事業
- ◇地域福祉活動推進事業
- ◇各種団体への助成
- ◇福祉員会議
- ◇親子リフレッシュ教室
- ◇おもちゃライブラリー事業
- ◇手話養成講習会



▲シルバー健康推進事業

## ◆ 相談事業

- ◇一般相談
- ◇法律相談
- ◇介護相談
- ◇心の相談
- ◇司法書士による相談



▲手話養成講習会

## ◆ 資金貸付

- ◇たすけあい資金貸付事業
- ◇生活福祉資金貸付事業

## ◆ 公益事業

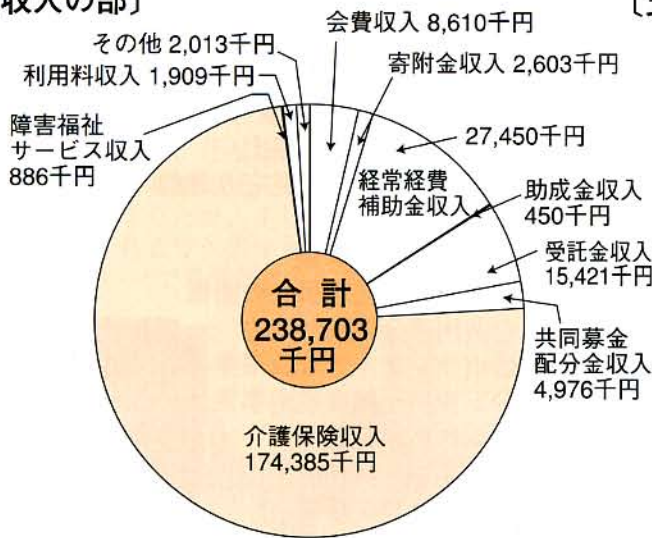
- ◇公共施設食堂「まがりや」を運営する事業

### 平成20年度 事業計画着眼点（平成19年度との相違点）

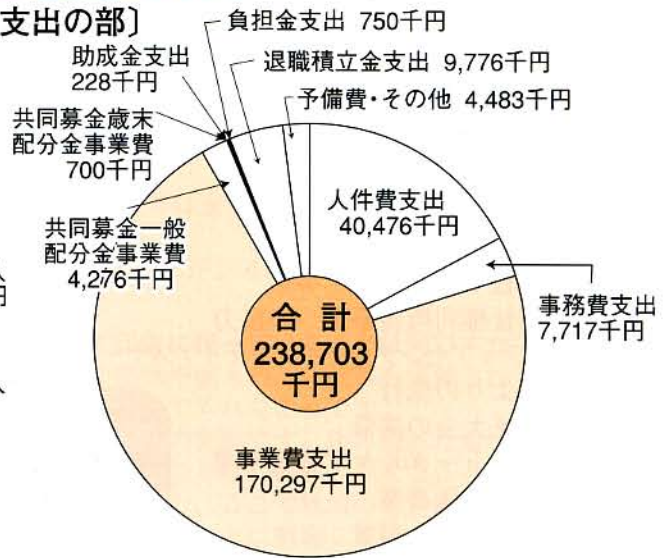
- ① 地域の子供たちと高齢者とのふれあいを深めるために、新規に「異世代交流事業」を計画しています。
- ② 「町内会長・民生児童委員・福祉員による合同会議」を開催して、地域ネットワークの更なる充実を目指します。
- ③ 仁賀保地域だけで開催していた「おもちゃライブラリー事業」と「ふれあいデイサービス事業」を象潟・金浦地域でも開催します。  
★おもちゃライブラリー事業……おもちゃを通して、子供同士や親同士の交流を深めるために開催  
★ふれあいデイサービス事業……アクティビティ事業を利用していない高齢者を対象にふれあいの場を提供
- ④ 法律相談の開設回数を増やし、相談事業に力を入れます。
- ⑤ 秋には、2年に1度の「社会福祉大会」を開催します。

# 一般会計予算

## 〔収入の部〕

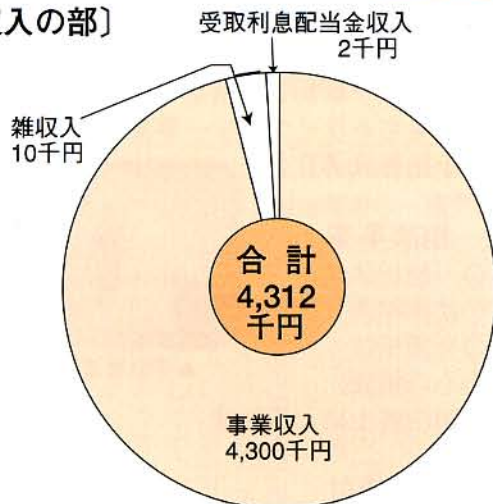


## 〔支出の部〕

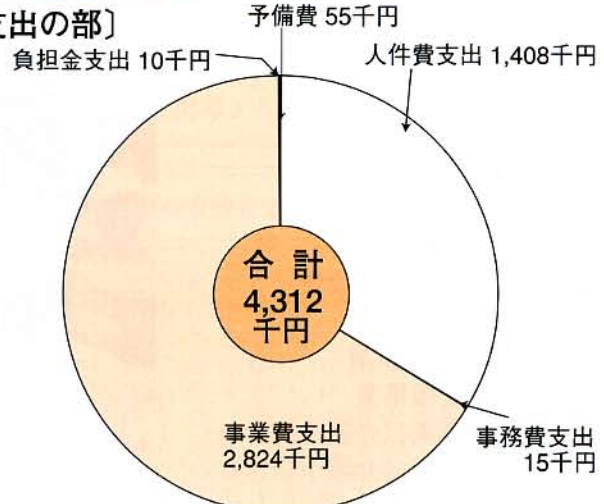


# 特別会計(まがりや)予算

## 〔収入の部〕



## 〔支出の部〕



### 退任理事

(敬称略)

- 須田三郎
- 佐々木眞澄
- 國松東一郎
- 佐々木吉晴

### 就任理事

(敬称略)

- |       |        |      |      |
|-------|--------|------|------|
| 監事    | 理事     | 副会長  | 会長   |
| 吉川栄一  | 梅津正紀   | 阿曾正  | 三島綾  |
| 佐藤忠一  | 佐藤友志   | 佐藤悦清 | 佐藤志一 |
| 佐々木工門 | 佐々木徳右門 | 本藤規夫 | 小藤直夫 |
| 細山良   | 細山宗彦   | 佐藤勝一 | 田仲晴一 |
| 六平善治  | 齊藤善治   | 板垣善治 | 板垣善治 |
| 細矢一雄  | 細矢一雄   | 細矢一雄 | 細矢一雄 |

※任期 平成二十年四月一日〜平成二十二年三月三十一日



## 役員改選

任期満了に伴い、理事・監事の選任が行われ、理事の互選により会長・副会長が決定しました。

退任された4名の皆様は、合併前から社協理事としてさまざまな事業運営についてご尽力下さいました。厚くお礼申し上げます。

象潟支所



♪春を呼ぶ唄や踊りに大喝采♪

「出前民謡コンサート」開催!!

3月11日(火)、「にかほ市老人福祉センター」大広間にて、民謡みちのく会(代表 佐々木勲さん)の皆さんによる出前民謡コンサートが行われました。会員の皆さんによる唄や演奏、踊りなど多数の演目をご披露いただき、センター利用者やアクティビティ参加者の皆さんからも好評を得て、大いに盛り上がりました。

民謡みちのく会の皆さん、大変ありがとうございました。



▲つい口ずさんでしまうような曲をたくさん披露してくれました

金浦支所



久しぶりに顔を合わせ・・・

「ふれあい交流会」開催!!

3月7日(金)、温泉保養センター「はまなす」にて、ふれあい交流会を開催しました。

午前中は、にかほ市健康推進課金浦保健センター竹内恵子保健師を講師にお招きして、「膝の痛みを解消する健康体操」について指導していただきました。普段から膝に良い体操をすることで、歩くことの楽しさや親しい友人を訪ねるなど活動的な一日を過ごしていただきたいと提唱されました。

午後からは、参加者の方から歌や踊り等が披露され大変楽しい会となりました。



▲ポイントをしっかりと聞きながら体操に取り組んでいました

仁賀保支所



体も心もすっきり・・・

「ふれあいサロン交流会」開催!!

3月18日(火)、釜ヶ台地域において「ふれあいサロン交流会」を開催しました。佐々木もと子先生方より、介護予防の方法として、ダンベル体操やリズム体操などをご指導していただき、冬の間鈍った体を大いに動かし、皆さんいい汗を流していました。

今日だけでなくこれから続けられる体操として、参考になったと喜ぶ声が聞かれました。無理なく継続できる運動で、毎日を元気に過ごしてもらいたいと思います。



▲じゃんけんを使って頭の体操をしました

# インタビュー

今回は、象潟支所勤務の齊藤幸恵さんと、仁賀保支所勤務の阿部雄子さんにお話を伺いました

## ★ 社協では、どんな仕事をしていますか？

- (幸) 主に地域福祉に関する仕事と会計を担当しています。3月までは金浦支所で金浦地域の皆様と接してきましたが、4月からは象潟支所に勤務しています。
- (雄) 3月までケアマネージャーとして介護保険に関わってきましたが、4月からは、"デイサービスセンター"で看護師として勤務しています。



▲齊藤幸恵さん(左)、阿部雄子さん(右)

## ★ 仕事を通して印象に残っていることは何ですか？

- (幸) いろいろな団体や個人の方に仕事を依頼されて「ありがとう」と喜んでくれたことです。
- (雄) 利用者の皆さんの笑顔です。住み慣れた地域と家で生活できるということは、何より幸せなことだと感じさせられます。また、ここで地域の皆さんと関わりを持ちながら、働けることに感謝しています。

## ★ 最後に市民の皆様へメッセージをお願いします

- (幸) まだまだ勉強不足の私ですが、市民の皆様喜んで頂けるような福祉を目指して頑張りたいと思います。
- (雄) 不安や困りごとを軽減して安心して在宅での生活ができるように支援致します。お気軽にご相談下さい。今後ご支援、ご指導よろしくお願い致します。

### 地域福祉トータルケア推進事業の一環で行っている「心の相談」担当の安藤先生より一筆いただきました



「心の相談窓口から」

臨床心理士  
安藤 隆彦

心の健康とは何？ 健康は体だけでなく生活の全てが健康に関係するものとして健康管理を考える時代になりました。にかほ市社会福祉協議会では地域福祉トータルケア推進事業として多角的なサービスを行って、その一環に心の相談があります。私達は、自分の健康を守る事で自分の命を守り、財産や家族を守っています。体は障がいのため不自由であっても心は自由です。どんなに苦難にみちた境遇にある人でも心の健康を持っています。それは人間として共に居るといふ権利からくるのです。家族や友人や近所の人達と共に過ごす体験の豊かさから心が健康である事を感じることでしよう。

現代は科学が進歩し私達の暮らしは、便利さという恩恵を受けています。便利さは心地よく過ごす事を提供してくれるのですが、同時に「面倒くさがる心」とか「なまける心」という気持ちも同居させるのです。例えば便利さの代価格である自動車があります。車に乗りドアを閉めれば、もう他人とは関係がない気持ちになるのではないのでしょうか。わずか三メートル位の距離で近所の人とすれ違う時はどうでしょうか。車はあつという間に過ぎ去ります。昔は徒歩か自転車、だんだんと人と人が近づいてお互いに挨拶を交わして親しさを伝え合う事ができました。今では瞬時に過ぎ去り、そこには無関心さが心に居座ってしまうのです。

今日では人々が親しみを持つ機会を作るにはどうするのでしょうか。心の窓を開き合えば、お互いに「あなたが居て良かった」と相手が必要としている気持ちを伝えることができるのです。人は誰かに自分が必要とされていれば、自分を確かな者として安心できます。健康は自分の健康のみと考えがちですが、心の健康ではお互いを認め合い、それぞれが互いに必要とされている事を確かめ合うことにならなければなりません。今回の地域福祉トータルケア推進事業が皆様方の心の健康への理解を深めていただく機会になることを願っております。

### 介護のことについては、下記までお気軽にご相談下さい。

## 介護事業所

- ・象潟居宅介護支援事業所      にかほ市象潟町字浜山121番地2      ☎43-2543
  - ・金浦居宅介護支援事業所      〃      金浦字金浦321番地1      ☎38-2375
  - ・にかほ居宅介護支援事業所      〃      平沢字八森31番地の1      ☎32-3011
- \* 相談された内容は、個人情報保護法に基づき秘密を保持します

# お知らせ

## 営業再開

### 「まがりや」

どうぞご利用下さい



冬季休業しておりました「まがりや」は、4月1日(火)、営業を再開しました。仁賀保地域横根にある薫風苑の隣にありますので美味しいそば、うどんを食べに来てください。

## 「にかほ市地域福祉活動計画」完成

昨年度、策定を進めていました「にかほ市地域福祉活動計画」が出来上がりました。

今年度から向こう5年間、社協で実施予定の事業活動計画がまとめられています。ご覧になりたい方は、社協各支所までお越し下さるか、HPでも見ることができますので、アクセスしてご覧下さい。



## ふれあい相談日

### ○無料法律相談 (弁護士対応)

日時 4月21日(月) 午前10時~12時  
場所 仁賀保支所 (スマイル)  
担当 津谷裕貴 弁護士  
申込先 仁賀保支所 (☎32-3010)  
期限 4月14日(月)

日時 5月12日(月) 午後1時~4時  
場所 象潟支所 (老人福祉センター)  
担当 平野一史 弁護士  
申込先 象潟支所 (☎43-2543)  
期限 5月7日(水)

### ○こころの相談 (臨床心理士対応)

日時 4月21日(月) 午後2時~5時  
場所 象潟支所 (老人福祉センター)  
担当 安藤隆彦 先生 (臨床心理士)  
申込先 象潟支所 (☎43-2543)  
期限 4月14日(月)  
定員 2名 (先着順)

### ○司法書士による相談 (司法書士対応)

日時 5月8日(木) 午後2時~4時  
場所 金浦支所 (元気百歳館)  
担当 渡辺嘉宏 司法書士  
申込先 金浦支所 (☎38-2375)  
期限 5月1日(木)

### ○一般相談 (相談員又は職員対応) 随時各支所にて対応します

\*相談された内容は、個人情報保護法に基づき秘密を保持します

## 「人材センター」設立

この度、社協で運営しておりました「にかほ市いきいきシルバー人材センター」が社協から独立し、「にかほ市シルバー人材センター」として生まれ変わりました。独立を理解し、改めて会員登録してくださいました方の中から58名が参加し、3月21日(金)、設立総会が開かれ、議案が議決されました。今後も、「人材センター」をご愛顧の程、よろしくごお願い申し上げます。尚、詳細につきましては、チラシをご覧いただくと幸いです。

## 人事異動

4月1日付けで、職員の異動がありましたので、お知らせ致します。

### 本所

・手話通訳士 (ボランティアセンター業務兼務) 平川信夫

### 仁賀保支所

・仁賀保支所長 (出納責任者兼務) 金子孝子  
・介護保険総務係長 (介護支援専門員兼務) 佐貫佳織  
・介護保険係主事 (デイサービス看護師兼務) 阿部雄子

### 金浦支所

・地域福祉係長 (会計職員及び庶務係兼務) 半田麻理

### 象潟支所

・象潟支所長 (企画福祉課長兼務) 齋藤正志  
・介護保険係主任 (訪問入浴及び介護支援専門員兼務) 関満  
・地域福祉係主事 (会計職員及び庶務係兼務) 齊藤幸恵

### 人材センターへ出向

・人材センター事務局長 田口和夫

\*手話通訳士の平川は、4月から社会福祉協議会に在席しておりますので、派遣依頼は社協(☎32-3020)までご連絡下さい

# 善 ありがとう 意

(3月19日現在)

## ◎香典返しとして金一封をご寄付されました

- ・佐々木 勝 様 (水岡)
- ・須藤 一久 様 (大須郷)
- ・青木 悦夫 様 (33区)
- ・庄司 達 様 (松ヶ丘)
- ・中村 達雄 様 (横岡)
- ・渡部 満 様 (小砂川1区)
- ・故木村キタ様子供一同 様 (荒古屋)
- ・兵藤 武治郎 様 (武道島1区)
- ・阿部 武ミエ 様 (栄町)
- ・福川 一喜久子 様 (小滝)
- ・池田 林 良キ 様 (前川2区)
- ・久保 田 田 良キ 様 (新町2区)
- ・鎌田 田 俊 様 (浜金浦2区)
- ・今野 東 久 様 (新丁1区)
- ・伊佐 藤 秀 様 (踏切2区)
- ・佐藤 善文 様 (伊勢居地)
- ・佐藤 文文 様 (堺)
- ・伊藤 文幸 様 (平沢)
- ・若藤 林 一 様 (平琴浦)
- ・藤田 藤 一 様 (三森)
- ・藤原 鋼鉄 様 (鈴)
- ・菅原 憲ヨト 様 (平東)
- ・松木 村 憲ヨト 様 (上小国)
- ・遠藤 藤 一 様 (三森)
- ・越後 木 貴 様 (三室)
- ・齋竹 藤内 祥 様 (平三)
- ・ 匠 通 志 一 様 (寺平)

## ◎社会福祉に役立てて下さいと物品等をご寄付されました (続き)

- ・佐藤 チヨ 様 (下坂) お手玉110個
- ・菊地 ツネ子 様 (平沢) 雑巾300枚
- ・伊藤 幸二 様 (三森) 紙オムツ多枚
- ・ 匿 名 様 紙オムツ多枚

## ◎社会福祉に役立てて下さいとご寄付されました

- ・上浜中学校 第八期卒業「浜の会」古稀の祝い (代表 佐藤 トメ) 様 10,000円
- ・上浜中学校還暦の会 (代表 相馬 正人) 様 20,000円
- ・両前寺なまはげ会 (会長 木内 敬三) 様 5,000円
- ・菅 又 豪 様 (鳥屋森) 5,000円
- ・横山 効生 様 (室沢) 25,000円

## 花ことば

季節の花 土筆 筆の花 つくしんぼ  
 花ことば 向上心 意外 驚き

ままごとの飯もおさいも土筆かな 星野立子  
 早春のままごとの材料であり、また、節を抜き、差し入れて抜けた節の当てくらべをした思い出がある。食べものとして春を味わうし、杉菜となれば馬の飼料として刈り取った野草。江戸時代の俳人、加舎白雄の句に、杉苗に杉菜生えそふあら野かな

編 細矢 鐵 雄



## ◎社会福祉に役立てて下さいと物品等をご寄付されました

- ・下荒屋新生会女性部 様 清拭タオル70枚
- ・横町 婦人学級 様 雑巾77枚
- ・市民農場白山ファーム (代表 小助川 捷一) 様 さつまいも20kg
- ・須藤 一久 様 (大須郷) 紙オムツ3袋、吸引機
- ・須藤 安保 様 (鳥の海1区) 防臭ペール1ヶ
- ・佐藤 裕子 様 (堀切区) 紙オムツ90枚
- ・加賀 勘一 様 (琴浦) タオル多数



## どんな事でもお気軽にご相談ください。

- ・本所 秋田県にかほ市平沢字八森31番地の1 ☎32-3020
- ・象潟支所 〃 象潟町字浜山121番地2 ☎43-2543
- ・金浦支所 〃 金浦字金浦321番地1 ☎38-2375
- ・仁賀保支所 〃 平沢字八森31番地の1 ☎32-3010

※相談された内容は、個人情報保護法に基づき秘密を保持します

## 数字で見るとかほ市

(平成20年3月19日現在)

- 人口 28,960人
- 世帯数 9,445戸
- 65歳以上 7,954人
- 高齢化率 27.5%

「にかほ福祉だより」は、赤い羽根共同募金配分金や社協会費の一部を活用して発行しております